

単位互換履修の注意事項

	学生	所属大学
申し込み	<ul style="list-style-type: none"> ・出願に際しては、所属大学の講義や大学自宅からの移動時間を十分に考慮する。 ・履修する科目が卒業や資格取得にかかわるような場合、履修が許可されないことも想定しておく。【対面型・体験型】 ・集中講義の場合、自大学の休暇期間をよく調べて申し込む。 ・出願票は、1科目につき1出願票を所属大学の窓口在所定期間に提出をする。 ・記入漏れ、ミスのないように注意する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出願票を受理 ・出願票を提出する際に下記のことを確認する。 <ol style="list-style-type: none"> ①記入漏れはないか。 ②通学時間等を考慮し、無理な履修をしていないか。【対面型・体験型】 ③開講時間は自大学の科目と重複していないか。 ④その学生の単位として認定できるか否か。 ⑤卒業や資格認定にかかわっていないか。
受講・休講	<ul style="list-style-type: none"> ・開講日時、科目開設大学への通学方法をよく確かめて受講する。【対面型・体験型】 ・科目提供大学での手続きは、募集要項（別紙手続き一覧）を見て速やかに行う。 ・単位互換履修生の正式決定があるまでは仮受講として受講する。 ・授業を欠席または受講途中で放棄しないようする。 やむを得ない事情で履修を取りやめる場合は、すみやかに所属大学に連絡する。 ・科目提供大学の履修ガイダンスを受ける。 <ol style="list-style-type: none"> ①大学案内 ②教科書の購入方法 ③食堂配置や図書館の利用方法 ④休講情報の確認方法 ⑤出席の取り方など ※各大学、講義の先生により出席の取り方が異なるので注意が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・受講日時、通学方法に無理がないか確認をする。【対面型・体験型】 ・科目提供大学によって手続き方法、手続き時期が異なるので注意を促す。（募集要項の配布） ・不許可になるまでは講義に出席するよう指導する。 ・途中で受講できなくなった場合、所属大学は、受講放棄の理由を学生から聞き、科目提供大学にその旨を連絡する。 ・科目提供大学で履修に関する説明を聞くように指導する。 ※特に、休講情報や出席の取り方などは各大学、講義の先生により異なるので注意を促す。
試験	<ul style="list-style-type: none"> ・単位互換科目と所属大学の試験が重なった場合、単位互換科目試験を優先し、「単位互換科目受験証明書」を科目提供大学で発行してもらい、所属大学で追試験等を受ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として単位互換科目の試験を優先し、所属大学での試験に関しては学内規程にもとづく追・再試験の措置を講じる。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・科目開設大学でトラブルがあった場合、履修生はすぐに所属大学に連絡する。 ・教育ネットワーク中国のホームページ (http://www.enica.jp/) で科目内容を必ず確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生からトラブルの報告があった場合、所属大学は単位互換事務局に連絡する。